

今回は、桜井まちづくり委員会の文化・教育部会で作成しました『さくらい ふれあいの月暦』から、3月の行事より一部(尊徳学習と卒業式今昔)を紹介します。

尊徳学習



せきしょういだい

積小為大 — 小さなことからコツコツと

ばんしょうぐとく

万象具徳 — どんなものにもよさがある

小田原市では25校の小学校4年生が、郷土の偉人「二宮尊徳先生」について学習をしています。2月に各校のさまざまな工夫のある展示物が「成果の報告」として市役所2階のロビーに展示されます。



桜井・報徳小の4年生もこの尊徳学習に積極的に取り組んでいます。以下は平成30年度の主な取り組み内容です。

●尊徳記念館の見学 ●尊徳記念館ボランティア解説員の川瀬様を学校にお招きし、二宮尊徳についてのお話をいただいた ●春に菜の花の収穫をしてその菜種から油を搾り、灯をともし体験学習 ●金次郎についての調べ学習 ●石けん作り、料理、わらじ作り、大豆の栽培



推奨 (すいしょう)
 分度 (ぶんど) によって生まれた余力を自分の将来や社会のために譲り合うこと

分度 (ぶんど)
 自分が置かれた状況や立場をわきまえて生活をする



イラスト：城北工業高校 デザイン科 卒業生

勤労 (きんろう)
 自分にできる仕事で社会に貢献すること

至誠 (しせい)
 うそ、偽りのない真心

今昔

小学校の卒業式

保護者や地域の方に見守られながら、過ごしてきた学校生活に別れを告げ、新たな生活に向かって旅立ちをする儀式です。

中学校までは義務教育で、高校進学では本人の希望に合った多様な進路を決定します。



卒業式には在校生の送辞、卒業生の答辞があって、校長先生から卒業証書をいただき、各学年成績優秀なものに優等賞、1日も休まない者に皆勤賞が授与された。

当時は小学校までが義務教育であったので、卒業後、中学校・女学校(今の高等学校)に進学する者は5~6人程度で、大部分は家事の手伝いまたは奉公に出されたものである。

引き続き ○ 新型コロナの感染拡大防止にご協力を !!
 「密閉」「密集」「密接」の3密にご注意
 「マスクの着用」「手洗いの励行」を徹底してください。